



ダレン・ブラウン氏レクチャー

DVD: デビルズ・ピクチャーブック<日本語解説書>

<The Devil's Picturebook by Derren Brown>

貴重なダレン・ブラウン氏のレクチャーDVD！

真のマインドリーダー・テクニクの真髄が学べます！

<DVD 内容:解説>

- 1巻はカードマジックですので、映像で充分理解できると思います。
- 2巻からはカードマジックから離れて、マインドリーディングの領域に踏み込んでいきます。私の Out of this world の改案や暗示を使った直接的なエフェクトなど、近年私が扱っている純粋な心理学的テクニックを使用するものです。
- 通常私がカードマジックとマインドリーディング両方やるとすれば、まず初めにカードを使ったものをやった後「次はスライハンドなし、マインドだけを使ってやってみましょう」などと言って移行していきます。そして私はパフォーマンスを行う際に [REDACTED] と言うと観客もすごく真剣になります。このようにすればパフォーマンスがよりリアルになるので、もしカードマジックをやった後にマインドリーディングを行ったとしても、観客はマインドリーディングを本当に信じます。それが例えカードを使ったものであったとしてもそうです。
- マインドリーディングをよりリアルにする方法についてですが、本当に人の心を読むならば自分の頭の中がどのようなようになるかを考えることです。イメージが浮かぶかもしれませんが、霊的なひらめきを得るかもしれません。私の場合は [REDACTED] こうすると一定の時間を使うので、相手もその瞬間がリアルであると感じることができるのです。 [REDACTED]、相手がどうやったかを考える際にあの時間に読み取ったのだと結論付けてもらうことにもつながります。
- 例えば名前を当てるとき、カレンとしましょう。「今からあなたの表情から出るシグナルから読み取っていきます。頭の中で繰り返しその名前を言ってください。もうすこし顎を上にあげて、繰り返し言ってください。頭の中で [REDACTED] どこを読み取っているかは言いませんが頭の中では特定の部分を本当に読み取っているようにします。観客は自然と「ああ、この人は [REDACTED] 読み取っている」などと思います。
- 繰り返しになりますが私は本当にある部分を読み取るようにします。もし演者がすでに先に情報を得ていて、マインドリーディングを信じ込ませたい場合でも、相手を見つめて本当に自分自身で信じれば、相手もマインドリーディングの瞬間を体感することができ、演者が実際にそれを行っている様子を見て記憶します。カードをめくった瞬間やフリップをひっくり返す瞬間ではなく、シグナルを読み取っているその瞬間を記憶するのです。
- これは私の著書「Pure Effect」でも述べたことですが、多くのマインドリーディングのパフォーマンスでは、情報を読み取る瞬間を見ることができません。(知るはずのない情報がパッドに書かれていると言ったようなことは見せる事ができますが。) 催眠術のショーで

はトランス状態の様子やプロセスを見る事ができますが多くのマインドリーディングではそれが無いのです。私は以前催眠術の世界にもいたので、人々に実際に起きていることを体験してもらうことを重視しています。

● まあこれらのことを踏まえて、これから解説するのはカードのエフェクトであることには変わりありませんが、よりマインドリーディングというテーマに沿っています。

Out of This World : <実演>

● 「1930代にある霊媒師がいました。彼女はカードの裏を見るだけで、表の色を読み取ることができると言っていました。実際は司会者がグルになっており、彼がうまくシャッフルすることで現象が成り立っていただけなので彼女は本物ではなかったのですが、面白い話なので今回はあなたに手伝ってもらいたいと思います。どうぞカードを混ぜてください。それで良いですか？（さらに演者がリフルシャッフル）

● 私は今からカードを広げ、何枚か取り出すのでこれらの色を当ててください。『赤?』。正解です。では・・・、これは? 『赤』。当たりです! このように全てのデッキでやって欲しいのです。2つの束に今から分けてもらいます。どうぞ。なるべくはやく、間違えるなどということは考えず行ってください。一枚一枚考えていますか? 止まらないで! 『えー、とりあえず適当に配っています』別に一枚一枚でなくてもいいですよ。真ん中からとか数枚ずつでも良いです。考えないで! 考えないで! ダッターターン! (配り終わる) 素晴らしい。

● 何か変えたいですか? 『大丈夫です』。本当に? ではこのカード (カットして一枚出す) は何色だと思いますか? 『黒だと思います』。OK。では今見ているこちらは? (別の束の一枚) 『うーん、黒かな?』。黒です。もう一枚は実は赤でした。まあでもこれらは半々の確率です。問題は次からです。何か変えたいですか? 『いいえ』。では確かめてください。(全て分かれている)」

<解説>

「Out of This World は好きですが、他の方法でやりたかったのをこれを作りました。従来のように4つの束に分けて、カードを入れ替えてなどの方法ではなく、できるだけはやく2つの束に分けてそれらが分かれているというものを演じたかったのです。これはまだ完璧ではなく発展途上のアイデアですが、私は好きです。では今からどうやるか、解説します。

以下省略

Double Think : <実演>

「お二人に協力してもらいたいと思います。本当にこれは成功するかは分かりませんが、試してみましょう。あなたが私を失敗させようとしなければ成功すると思いますが、ポーカーフェイスで情報をあまり出さないようにはしてくださいね。こうやってトランプを弾いていくので一枚見て覚えるなりストップと言うなりしてください。ストップと言ってください。(ストップ) ここですか? 本当に良いですか? ではこれをイメージしておいてください。

あなたの方 (二人目) は....ただカードを想像してください。この部分にカードをイメージ

してください。いいですか？（はい）それではやってみましょう。あなたの方が実際難しいです。なぜなら想像してくださいと言った方はなんのカードか予想が付きやすいですからね。ちなみに変えても良いですよ。考えさせてください...えーこれと、これだと思います。選んだカードはなんでした？（ハートの3です）あなたのカードは？...いや、ちょっと待ってください。あなたの方は変えても良いですか？いや、やはり変えないでおきます...なんでしたか？（スペードのQ）めくってください。そしてあなたのカードはなんでしたっけ？（ハートの3）ハートの3！完璧です。

<解説>

以下省略

Velvet Turnover

● ユニークな技法の紹介。ダブルリフトを使わずにクリーンでフェアに行えるアンビシャスカード等に有効に使える技法。（省略：DVD 映像参照）

Extreme Mental Effort : <実演>

「カードをリフルシャッフルしてください。ありがとうございます。それではお手伝いをお願いします。私と彼は見ませんのであなたは好きなところでデッキをカットしてカードをこのように見て覚えてください。覚えたらイメージをしてください。例えばハートの2なら大きく2とハートを強く想像して忘れないようにしてください。」

「それではお願いします。見ましたか？そうしたらデッキを完全に揃えてどこでカットしたかわからないようにしてください。そうしたらまたカットをお願いします。またシャッフルをお願いします。私はもうこのデッキに触らないようにしたいので持っていてください。」

「あなたにはカードを思い浮かべて繰り返し心の中で唱えてください。これは超能力みたいなものとは違いあなたが出すシグナルから当てていくものなのでなるべく表情に出さないようにお願いします。私は今からあなたのカードが何かを読み取ります。読み取ろうとしますが、あなたは全力で私にヒントを与えないように努力してください。いいですね？でも私を失敗させようとはしないで本当にそのカードを想像してくださいね。」

二人目の観客に向かって、「あなたは私が合図したら一枚ずつカードを裏向きでこのように配って行ってください。そして私が今だと言ったら、そのカードを一枚このように置いてください。それではこちらを向いてください。よし、配り始めて。」

一人目の観客に向かって、「カードの数字を思い浮かべてください。数字です。ちょっと今ためらいましたので多分絵札でしょう。そうですね。笑ったりすると私にばれてしまうので何もリアクションはしないでください。次は色を明るくはっきり頭の中でイメージしてください。明るくはっきり。なるほど少し想像が難しいみたいなのでおそらく黒でしょう。黒い絵札ですね。ジャックかクイーンかを、キ、ク、ク・・・クイーンですね。ありがとう。」

「カードを配り続けて。」「考え続けて。私の方を見て頭でカードを言い続けて・・・」「今だ！テーブルの真ん中において！」「私を見つづけて！見て！見て！クラブかスペードか、クラブかスペードか。言ってください。頭の中で言って！聞こえませんか？言ってください。言

って。クラブ！スペードだ！スペードのクイーンですか？そうですね？ストップしたカードをめくってください。」見事当たっています。ストップしたカードもスペードのクイーンです！

<解説>

「私が昔考えたアイディアに [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED] 良いアイディアに思えますが、私は [REDACTED]

[REDACTED]。そこで私は手順をより合理化して...単純に [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

ここでわたしは本当に集中して観客自身に体験させるようにします。カードを言ってもらいますが言わないようにしてくださいなどということで、ううう、というドラマチックな瞬間を何もないところから創り出すのです。(今回ビデオを今まで見てきた私の印象としては、あなたは自分自身がしていることを本当に信じることに集中力を使っているように思えますね。ただのトリックをするという感じではなく。) そうです。私は本当に自分のやっていることを信じています。本当に私は彼女を見てカードを読み取ろうとするのです。すでにスペードのクイーンだとわかってはいても、一旦そのことは忘れて本当に当てようとするようにしています。そして [REDACTED]

[REDACTED] ストップさせてすぐそれをめくるのか、それともまだ彼女のマインドリーディングを続けるのか、それとももう少しソフトなリーディングをするのか色々自分自身で試してみることです。プレゼンテーションの方法に力を入れるのがこの手順ですから。

Invisible Deal : <実演>

「想像上のデッキを使います。別にあなたにこれをシャッフルさせて、馬鹿にしたりはしませんが、これがよく混ざっていることを想像してください。ではこれを手にとってください。さて周りにいる他の人は忘れて、本当にこれから私がお願いすることをやってください。あなたが本当に心の中イメージして本当に私の指示に従わないとこれは成功しません。いいですね？(実際に手を動かしてやるのですね?) そうです。あと頭でしっかりと考えてください。

まずやっていただくのは、デッキを配って2つの別々の束に分けてもらいます。一方が赤でもう一方が黒になるようにしてください。(色を言いながら?) そう、心の中でどっちがどっちか考えながらお願いします。

よし、これで52枚配ったとしましょう。あなたが使いたい方の束を取り上げてください。他はどけておきます。そしてその中には2つのマークがありますね。私はそれが何なのかは尋ねませんので、自分でちゃんと頭の中で追って行ってくださいね。では今スペードとクラブかハートとダイヤを持っていますが、今度はマークごとに二つの束を作ってください。スペードとクラブかハートとダイヤです。もう一度頭の中できちんと考えて配って行ってください。また一つの束をとってください。残りは使いません。こちら側の束ですね？では今あなたは一つのマークを持っています。そして私はそれが何かはわかりませんね。さらにもう一度同じことをやってもらいますが次は奇数と偶数です。エースは奇数とし、絵札はややこしいのでここでは考えません。エースから始めて二つの束に分けてください。そしてまた一つ束をとってください。頭で何をとっているか覚えていますね？それを空中に広げるイメージをしてください。一枚ずつ順に並んでいます。今からこれらの空中のカードが何か教えてください。ただその前に私は一枚カードをここに置いておきます。広がっているカードを見てください。私にはそれが左から右なのか右から左に広がってくるのかわかりませんがとにかく想像してください。そして一番左と一番右のカードは取り除いてください。できましたか？そうしたら真ん中のカードが3枚残りましたね？では左手で一枚取って私にください。何ですか？（ダイヤの3です）では次に右手でまた一枚取って私にください。これは？（ダイヤの7）ということは、これは除きます、52枚中1枚のカードが空中に残っていますね？ダイヤを選んだと思いますが、残っているのは何ですか？（ダイヤの5です）ダイヤの5ですか、わかりました。1枚カードがテーブルに置いてあります。ずっとそのまま置いてありました。めくって驚いてください。

<解説>

（だんだんマインドリーディングらしいものになってきましたね。）

「そうですね。もし私が誰かにデッキを渡されて何かやるように言われたらこういうタイプのものを演じます。カードのコントロールなどは必要ありません。なぜなら操作は全て想像の中で行われますから。どうやったと思いますか？（わかりません。そのカードに誘導していたとか？）特定のカードを選ばせたりなどはしていません。次に紹介するものでは

以下省略

Invisible Deal Force : <実演>

「お手伝いください。これはカードマジックのようなものですがカードを使用しません。あなたにお願いしたいのは、ただ純粋に私の指示に従う事です。私がイメージするようにお願いした事は本当にイメージして欲しいのです。いいですね？それでは始めましょう。私は今からあなたに一枚カードを渡しますので、何のカードかは見ずにポケットにしまってください。

そうしましたら、私が1組のトランプを持っているところを想像してください。最初にポケットのカードを予想したり、考えを変えたり、好きなカードを想像したりすると失敗するのでやめてください。ただ私の指示に従ってください。

今デッキを持っています。私は2つの束に配ります。赤と黒です。赤の束と黒の束に配ります。頭の中で一つを取り除きもう一つを取り上げてください。そしてその束を広げてください。

い。今あなたは2つのマークを見えています。いいですね。2つのうち一つは捨ててスペアの方を残してください。2つのうちスペア、好きなマークを一つ想像するのです、いいですね？2つのうち1つを捨てて1つは残しました。今1つのマークが残っています。理解できますね？ではそれを頭の中で想像してください。

次は数字のカードと少ない絵札を想像します。2つの種類がありますが1つを捨てて少ないカードが残ります。いいですね。あと何枚かが残っています。私を見ながら頭の中で想像してください。もし今数字のカードを想像していれば、1枚以外全て捨ててください。もし絵札を考えているならば、一枚残したいので2枚を1組として、ペアの2枚を捨ててください。今52枚中1枚が残っています。あなたの後ろのポケットに入っているカードと一致していたらいいのですが。今考えているカードはなんですか？（スペードのジャックです。）なんですか？（スペードのジャックです。）スペードのジャック、自由に選びましたね。ポケットからカードを取り出してください。

<解説>

（似た現象ですけど、全然わかりません。）

「分からないでしょう！これは」
「ここからどうやるかですが、先ほどの手順とかなり似ていますが難易度はさらに上がります。」

以下省略

Mental Force : <実演>

・ パフォーマンス1

「これを見ないでポケットに入れておいてください。もう他のカードは使わないので避けておきます。あなたにこのカードが何かを当ててほしいのですが自分の勘などで考えると失敗してしまいます。ですから私がカードの情報を今からあなたに送信します。今私にはカードがはっきり見えていて、あなたに送っています。スクリーンを頭の中で想像して、カードが写っているイメージをしてください。カードのコーナにある小さい数字やマーク、真ん中のマーク部分もビッビッとしっかりイメージしてください。私を見て....今何のカードを考えていますか？（ダイヤの3です）ダイヤの3？自由に選びましたか？（はい）素晴らしい。確認してください。」

・ パフォーマンス2

「この中で、超能力を信じている人はいますか？（いいえ）私も信じていません。今から行うものは心理的スキルであって超能力ではありません。席を替えて私の近くに来てもらえませんか？今からあなたにあるカードを送ります。これはいつも成功するわけではありません。もし失敗しても、私のことを嫌いにならないでくださいね。一枚だけテーブルに置きもう二度と私は触りません。リラックスして。私はずっとカードをイメージしてあなたに送ります。今私はスクリーンをイメージしていてカードの角や色やマークをすごく鮮明に想像しています。今送っています。勘に頼ったり好きなカードを想像したりしないでください。今から

あなたはイメージを受け取ります。そしたら強くはっきり鮮明に心の中で想像してください。今1枚考えていますか？正直に何か教えてください。（ハートの4です）ハートの4、明らかに自由に選びましたね？見てください。なんでハートの4にしたのですか？（全くわかりません。）」

<解説>

以下省略

（確かにこのテクニックは効果的ですが、どのように練習すればよいのでしょうか？この種のテクニックは鏡の前に座って長時間練習するというわけにもいきませんよね？あなたはどのようにやったのですか？）

私は

[Redacted]

[Redacted]。あとはアウトを用意して練習する方法も良いです。

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

そうですね。別にマインドリーディングがマジックよりも勝っているなどとは感じませんが、私は以前のようにもうカードマジックはやらないのでマインドリーディングの方がしっくりきます。もう長年アンビシャスカードなども行っていません。カードマジックにはたくさん素晴らしい古典などありますが、もう私に似合わなくなっているのです。私には何が合っているのか、私が人々に近づいて何か見せる時何が適しているのか、あるいは人々にどういう感情を抱かせたいのかなどを考えます。そして一度どういうものにするか決めたな

ら、どうそれを作り上げるかを考えるのです。その結果、アンビシャスカードが有効ならばそれをやれば良いのです。というわけで、何が自分に向いているのかをまず考えることですね。

マインドリーディングの場合、私は本当に人の心を読む時に、自分がどう考えるかなどの事はきちんと理解しています。相手の動きを読むなど。そしてその考えで説明できないタイプのマインドリーディングは演じない事にしています。ブックテストなども私はしますが、その場合まず私はフォトリーディングをします。20分くらいフォトリーディングをした後そのデモンストレーションとしてブックテストを使うのです。ただ本を渡して好きな言葉を思い浮かべるように言うのは、私からしたらなぜ本が必要なのかを説明できません。これが私の考えです。」

ー以上ー

The Devil's Picturebook

By Derren Brown

「DVD:デビルズ・ピクチャーブック」
(ダレン・ブラウン レクチャー)

<日本語解説書>

翻訳: Ken Saito

編集: (有) フェザータッチ MAGIC

■ この日本語解説書は、あくまでも DVD「The Devil's Picturebook」をご購入いただいた方へのサービス原稿となります。日本語解説書単体での販売はできません。また内容についてはフェザータッチ MAGIC が独自に翻訳編集したものです。

★ 誤字、脱字、誤訳等がありましたら、ご連絡いただければ幸いです。皆さまのご協力でさらに良いものに仕上げる事ができればと思います。

★ この日本語版の全てのコンテンツの著作権は、フェザータッチMAGICが所有します。一部、全部を問わず、無断でのコピーはもちろん、いかなる手段での転記、転載（電子メールを含む）販売等の二次使用は一切禁止します。

販売: (有) フェザータッチ MAGIC

www.FTMagic.JP



フェイスブック: www.facebook.com/ftmagic

(新製品情報、特別セール情報等はこちら Facebook でチェック)



〒520-0528 滋賀県大津市和邇高城 334-17

電話: 090-4284-2670 FAX: 0120-166-019 (FAX 専用フリーダイヤル)

メール: FT@FTMagic.JP